

マネージメント情報

※ THMS ラボ体内受精卵の受胎率について

THMS 授精課が移植しました体外受精卵(通称ラボ卵)の今までの受胎率(判明分)についてまとめましたのでお知らせいたします。

【表-1】…全ての移植頭数の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R1	4	19	24	17	37	41	55	103	90	107	77	36	610
R2	59	65	103	138	105	118	139	144	123	208	195	218	1613
R3	233	242											475

令和元年の1月からラボ卵の移植がスタートしました。前回のM情報にも書きましたが今までの体外受精卵は畜産農家にとっては、とまらない、過大児による分娩の事故等々の苦い経験(黒歴史)から、THMSの授精師にとっても最初は敬遠されていたのが実情でした。私が今までの体外受精卵とは違うから、安心して使って欲しいと言っても、「……？」という反応でした。

グラフを見ていただければ、分かるように半年すぎた頃から受胎率もでてきて、すこしずつ移植頭数が増えてきました。

ラボ卵移植頭数の推移



令和元年の年末に減少しましたが、その後は右肩上がりが増えてきています。

昨年秋からは200頭/月を越える様になり、このままいけば体外受精卵だけで3000頭に迫りそうです。

次の表は移植頭数とその受胎率についての表です。

まとめると、追い移植(EET)が全体の40%で受胎率は60%、黒毛和牛が1/4で45%、ホルスタインが11%で40%、残りはF1の単独移植になります。(表には掲載忘れ)

【表-2】…全ての移植頭数の内訳

	合計	+	-	不明	受胎率	双子数
総合計	2216	1144	1052	20	51.6%	
EET	897	547	338	12	61.0%	67
黒毛和牛	519	238	279	2	45.9%	2
黒生	289	132	156	1	45.7%	2
黒凍結	230	106	123	1	46.1%	0
ホルスタイン	244	99	145		40.6%	
ホル生	69	19	50		27.5%	
ホル凍結	175	80	95		45.7%	
ホル10月以降	173	80	93		46.2%	
ホル12月以降	94	49	45		52.1%	

農場	合計	+	-	受胎率
1	171	105	66	61.4%
2	59	38	21	64.4%
3	57	33	24	57.9%
4	76	35	41	46.1%
5	550	229	321	41.6%
6	574	317	257	55.2%
7	104	51	53	49.0%
8	114	57	57	50.0%
合計	1705	865	840	50.7%

【表-3】…THMS 授精顧客の中で移植頭数上位分

ホルスタインの受胎率については前回のM情報に書きましたが、昨年の10月にOPU施設ができてから、またその後の改善があった12月から受胎率が上がっていることがわかります。

表-3は農場の繁殖管理に積極的にラボ卵を取り入れていただいているTHMSの授精課の顧客農場の移植頭数と受胎率です。農場によって受胎率に10%前後の差がありますが、ほぼ授精と同等かそれ以上の受胎率になっていると思われそうですが、いかがでしょうか？

府県にもラボ卵を定期的に購入していただいている酪農家(搾乳牛 500 頭規模)がいますが、現在はほぼ完全に AI→ET に移行していて、直近の受胎率は 48%と聞いています。まだ 2 年間の数字ではありますが、私が目標としている AI→ET の繁殖管理の可能性が少しずつ見えてきていると思っています。

.....

・感謝！今回のラボ卵の成績についてですが、どのようにお感じになりましたか？ 2年間の数字と書きましたが、短期間でこの様な結果が出せたのは、顧客のみなさん、THMSの授精師、獣医師諸氏の協力のおかげだと思っています。最近、今まで知らなかった方からの問い合わせがあり、しかも府県からのものが増えてきています。

私としては、一番にトータルハードマネジメントサービスの顧客のみなさんにこの技術でお返ししたいと考えていますが、現状では進い移植用や福之姫の F1 卵が中心になっています。OPU-IVF もありますし、真面目に AI→ET の繁殖管理の移行ということもありますので、何でも良いですのでお声がけください。

これからは、全国的にホルスタインのゲノム検査の結果を踏まえての育種改良が始まると思っていますので、1卵でも多く、1頭でも多く妊娠して、ピカピカのハイゲノムの後継牛が誕生するように、今後も精進してみなさんの期待に忘れられるラボにしたいと思っています。

・昨年末に輸入しました ProCROSS の受精卵ですが、府県の酪農家に 2 個お譲りし 1 頭妊娠確認できたのですが、今週再妊娠の時に早期胚死滅が確認されたと連絡がありました。

何事も簡単にはいきませんが、これも必要な試練と考えて残りの受精卵で何とか日本初の ProCROSS の子牛を誕生させたいと思います。